

## 不当労働行為救済申立書

〇〇年〇月〇日

岐阜県労働委員会会長 様

申立人 住所（主たる事務所の所在地） **岐阜市藪田南〇丁目〇番〇号**  
電話番号 **(058) XXX - XXXX**  
**藪田工業労働組合**  
氏名（名称及び代表者職氏名） **執行委員長 藪田 みなみ**

労働組合法第7条第1号、第2号、第3号違反について、労働委員会規則第32条により、次のとおり申し立てます。

第1 被申立人 住所（主たる事務所の所在地） **岐阜市藪田南〇丁目〇番〇号**  
電話番号 **(058) XXX - XXXX**  
**藪田工業株式会社**  
氏名（名称及び代表者職氏名） **代表取締役 岐阜 健太郎**

第2 請求する救済の内容

当労働委員会から被申立人に対して、どのような命令を出してもらいたいかを、次の要領により、具体的に記載してください。

〔例 示〕

- 不利益取扱等（労組法7条1号関係）
  - 1 被申立人は、大垣一江を解雇処分の行われた日にさかのぼって従業員として取り扱わなければならない。
  - 1 被申立人は、解雇処分の日にさかのぼって賃金相当額を支払わなければならない。  
との命令を求める。
- 団体交渉拒否（労組法7条2号関係）

被申立人は、申立人組合の申し入れた年末一時金についての団体交渉を、交渉場所が従来と異なっていることを理由に拒否してはならないとの命令を求める。
- 支配介入等（労組法7条3号関係）

被申立人は、申立人組合の組合員に組合脱退を勧奨するなどして、申立人組合の運営に支配介入してはならないとの命令を求める。
- 報復的不利益取扱（労組法7条4号関係）

上記労組法7条1号関係の例を参考にして記載してください。

第3 不当労働行為を構成する具体的事実

1 当事者等

申立人については、結成年月日、組合員数、上部団体等を、被申立人については、事業内容、従業員数などを記載してください。

**2 本件不当労働行為に至る経過（背景）**

不当労働行為が行われるまでの労使関係及び経過、背景等を、日時を追って、簡潔に記載してください。

**3 本件不当労働行為にかかる具体的事実**

請求する救済の原因となった事実を、次の要領により、日時を追って、具体的かつ明確に記載してください。

• 労組法第7条1号関係

処分のあった年月日及びその理由、処分されたものの組合活動が処分の理由であるということの事実とその主張を記載してください。

• 労組法第7条2号関係

団体交渉を申し入れた年月日、交渉事項ならびに使用者が団体交渉を拒否した年月日及びその理由を記載してください。

• 労組法第7条3号関係

使用者が、労働組合の運営に介入した事実を、誰が、いつ、どこで、誰にどのようにしたかを記載してください。

• 労組法第7条4号関係

上記労組法第7条1号関係の例を参考にして記載してください。